

YIA 会員だより 2005 年 6 月号

発行：吉野川市国際交流協会・広報部 (Tel：42-4117、Fax：42-4499)
ホームページ URL：http://www.tcu.or.jp/kamojima/yia/

7月の活動計画

日(曜日)	時間	会場および問合せ先	行事名および内容	備考	担当
24(日)	18:30	文化研修センター	定例理事会		事務局
毎週木曜日	19:00~21:00	文化研修センター	英会話教室 講師:アリソンさん		
10(日)	10:00~	川島公民館	料理教室 (参加費:500円) 講師:白川さん	*1	環境部
14(木)~ 23(土)	17:30~	野口理事 (Tel:24-3372)	ドイツ高校生 ホームステイ受け入れ	*2	交流部
3(日) 31(日)		治作マンション	PPC(英会話フリートーク) アン・中村さんを囲んで		
毎週 金曜日	19:00~21:00	川島教室	日本語教室 講師:手塚功先生		支援部
毎週日曜日	14:00~16:00 19:00~21:00	石井教室 上板教室			
毎週 火曜日~ 木曜日	10:00~16:30	出張支援		必要なとき、必要な場所に出かけてお手伝い します	
適宜		外国の方のお家 その他の場所	訪問インタビュー 吉野川市に住んでいる外国の方を訪問しお 話をしたいと思います		
毎週金曜日 毎週日曜日	19:00~21:00 13:00~15:00	文化研修センター	日本語教室 講師:村上瑛一先生 サポート:大石、藤野井、西島		

** 皆さんの参加を募集しています。(申し込みはなるべく Fax でおねがいします)

	日(曜日)	時間	場所	行事	申込み期限	申し込み先
*1	10(日)	10:00~12:30	川島公民館	料理教室 (定員20名、先着順 で締め切ります) メニュー:そば打ち、山菜おこ わ、南蛮漬け 和菓子	7(木)	小林理事 Tel(Fax): 24-3500
*2 ドイツ 人高校 生との 活動	15(金)	18:30	セントラル ホテル鴨島	歓迎パーティ (参加費、2500円)	12(火)	吉野理事 Tel(Fax): 22-2088
	16(土)	9:00~	市役所前 集合	鳴門観光 (実費) 車でお願いします	12(火)	
	19(火)	18:30~	山下理事宅 (ご存じない方 には地図をお送 りします)	夏祭り(参加費500円) バーベキュー、阿波踊り他	13(水)	
	18(月)	10:00~15:00	文化研修セン ター(終日)	日本語学習	不要	時間のある方お 手伝い願いま す
	20(水)	10:00~13:00	鴨島体育館前 集合	オリエンテーリング		
21(木)	10:00~12:00	文化研修セン ター	日本語学習			

日本語を勉強し、日本の文化に興味を持っている高校生です。町で見かけたら気軽に日本語で話しかけてあげてください。また、上記以外にもご協力をお願いすることになると思います。よろしくおねがいします。

事務局からのお知らせ

平成17年度から会員だよりのスタイルが変わっています。YIAのHPにはPDFでアップしています。ご意見・ご要望などがございましたら、広報部 市原(24-5052)まで、ご連絡ください。

《 活動報告 》

環境部

第一回吉野川市環境デザイン研究会

「フィンランドの芸術教育」 榎木令子

20名の参加者の元にフィンランドの教育現場について
の話を聞きました。子供たちがプロのアーティストの指
導で上手に能力をひきだしてもらい、素晴らしい作品を
作り上げる様子を説明してくださいました。

(YIA と街角コンサート共催)



支援部

日本語サロン

オーストラリア、フィリッピン、中国の方の参加で、総勢25名でした。教室の雰囲気は大変楽しいものでした。最後には自己紹介、質問などをして笑いのムードの中で終わりました。会員および日本人協力者の皆さん、大変お世話になりました。

今回は手塚教室の学習者のみでしたが、今後機会があればYIA主催のサロンもできればいいと思います。このような場を作ることで勉強の意欲も変わってくると思います。タイと韓国の方が都合で欠席されたのは少々残念でした。



日本語サロン・川島
(手塚講師)

日本語教室・鴨島
(村上講師)



私の中国訪問記

5月18日より1週間、中国の瀋陽と上海を訪問しました。中国において新しく設立された中国人研修生の送り出し機関と日本企業との調印式、および次回来る新研修生の実技と面接試験を行うための訪問でした。

特に、その機関が送り出す研修生に対する中国での日本語指導について、中国の日本語の先生といろいろ話し合いました。中国での日本語レベルを統一し、日本での集合研修に際して履修者間の大きな差をなくすなど、成果の大きい話し合いをしました。この取り組みで、日本における、決められた時間内での日本語研修が大いにレベルアップできるものと確信します。

瀋陽についたとき、私の教え子であった元研修生からの出迎えを受け、大変感激しました。中国滞在中には数人ずつが毎

日ホテルまで訪問してくれ、夜遅くまで話しこみました。日本での友好の絆の固いことを改めて確認できる日々でした。最終日には20数名の元研修生に囲まれ、瀋陽植物園に行き、楽しいひと時を過ごしました。この人たちはYIAになじみがなかったので、吉野川市での交流について話せなかったことがただひとつ残念に思いました。

日本において熱心に勉強された人たちは皆素晴らしい仕事をしていました。この人たちに接して日本での成果が中国に帰って生かされていることを大変うれしく思い、皆さんにいくら感謝の念を連ねても足りない気持ちでいっぱいでした。これからも日本において向学心のある人には時間のある限り支援していきたいと思っています。 『手塚功』

《フランスで製本の勉強をしている日野さんから第一報が届きました。》

大変ご無沙汰しております。お元気ですか？

徳島ももうかなり暑そうですが、入梅なのに雨が降らなくて困っていると聞きました。フランスも地方によって水不足に悩んでいて、とくに想像もつかないほど広大な農地では、水の確保がかなり困難なようです。ディジョンも毎日33以上の暑さが続いています。日本と違って乾燥していて、日差しはじりじりと強いですが、日陰は割りと涼しいです。こちらに来て、早くも一ヶ月が過ぎてしまいました。フランスの人はいつもマイペースで焦ることがなく、時間はゆっくり過ぎていますが、私の方はやることも見ることも多く、あっという間に時間が過ぎていきます。今は朝、語学学校に通い、午後はアトリエで製本の研修という毎日です。フランス語はまだ全然だめですが、製本の研修としては作業中の本がそろそろ上がりつつあります。アトリエには毎日一人か二人の来客があり、袋から古くてぼろぼろの本を大事そうに出して預けて帰ったり、職人さんが直接図書館や博物館から傷んだ本を持って帰ったりで、忙しそうです。それでもやはり仕事の需要は少ないそうです。私は製本そのものも好きですが、この職人さんとお客さんのやり取りとか、本を直して大切にするという文化に惹かれたので、ルリュールの仕事はそのままずっとなくならないでほしいと願っています。

フランスに対する印象もかなり変わりました。クールで自己主張がつよい人たちだと想像していたのですが、私の周りのフランス人はなんとというか、懐が大きいです。自分の意見を述べるだけでなく、人の意見も尊重し、受け入れてくれます。今、自分がどう考えているかが大事なようです。お店でも役所でも、こちらの相談に対しては受けた人の判断ください。駄目だと判断したら駄目、一理あると思えば臨機応変に対処してくれます。

平日は通りのいたるところに市場が出て、野菜や果物、花や雑貨などが並び、観光局も多くてとてもにぎわっていますが、店も昼休みはきちんと取り、日曜には街の中心から人がいなくなってしまうところがフランスらしいと感じています。行きたいときに閉まっていることもあり、また郵便局や店のレジでお客さんが長蛇の列をなしていてもお構いなく、世間話をしながら仕事をしているなど、不便さもありますが、慣れてしまえば居心地よく感じてしまいます。こんな感じで、こちらの日々は充実していますが、自分だけがこんなに楽しんでいるのが少々申し訳ない気持ちです。今後、フランス各地を転々とする予定ですが、余裕がある限りフランスでの体験をお知らせしたいと思います。どうぞ、季節柄お体に気をつけてください。 『日野恵美子』